



長崎県農林技術開発センター

Nagasaki Agriculture and Forestry
Technical Development Center

要 覧 OUTLINE



本所（諫早市）



果樹・茶研究部門（大村市）



畜産研究部門（島原市）



思索の道



中山間営農研究室（雲仙市）



干拓営農研究室（諫早市）



茶業研究室（東彼杵町）

概要 Overview

基本理念

次代につなげる魅力ある農林業と活力ある農山村を実現する生産から消費にいたる革新的な農林業技術の開発

重点テーマ

- 地球温暖化に対応した品種の育成や安定生産技術、病害虫管理技術の開発
- スマート農業林業等生産性や品質を向上させる生産技術の開発およびオリジナル品種の育成
- 機能性等に着目した高付加価値商品の開発や素材となる農作物の育種技術、栽培技術の開発
- 中山間・離島に対応した営農体系の確立および環境保全型農業技術の開発

位置図



沿革

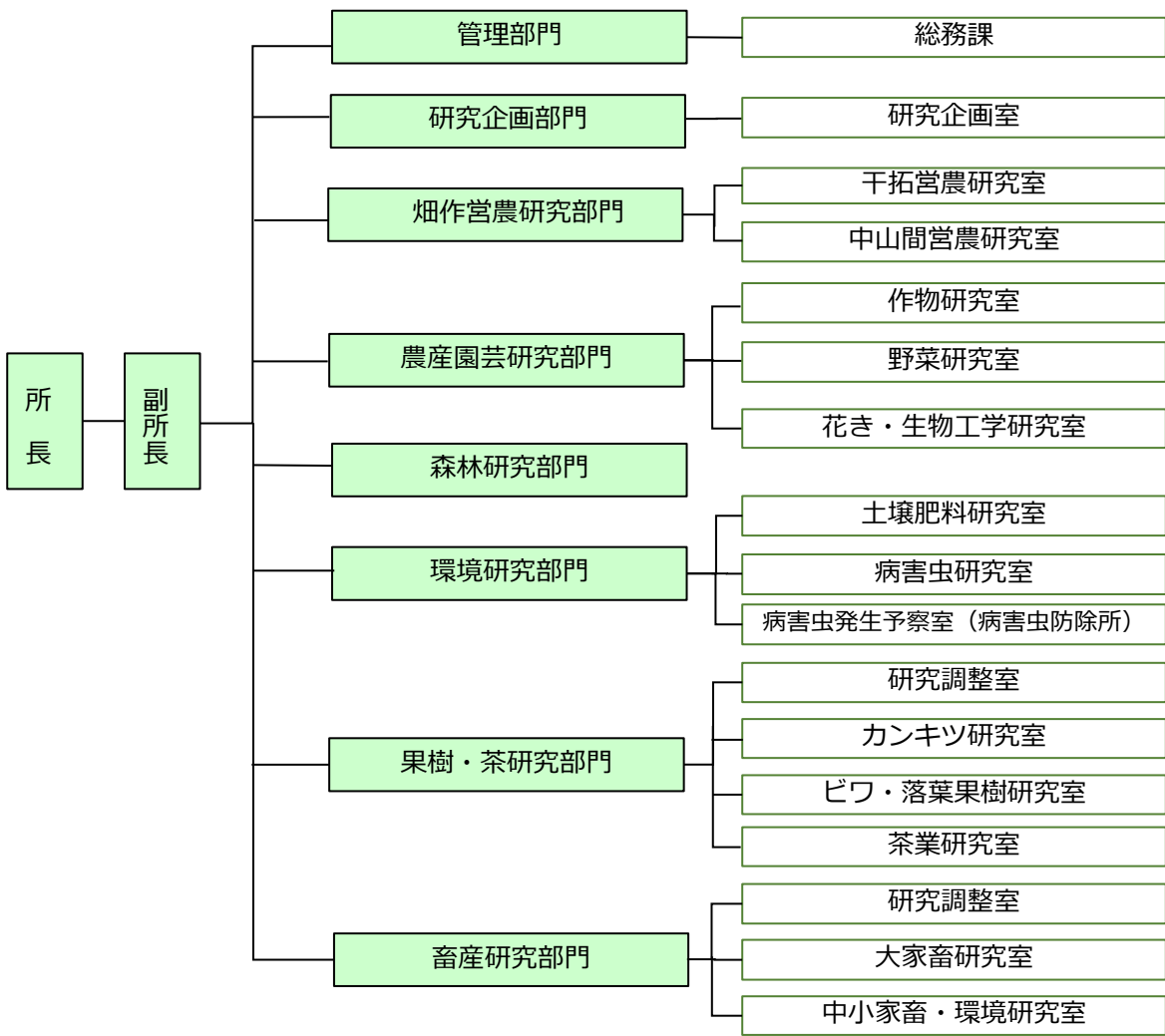
1898年	明治31年	長崎県立農事試験場を長崎市巾着町に設置
1920年	大正 9年	諫早市永昌町に移転
1929年	昭和 4年	茶業部を東彼杵町に設置
1950年	昭和25年	長崎県農業試験場に改称
1951年	昭和26年	愛野試験地を愛野町に設置
1954年	昭和29年	大村園芸分場を大村市に設置
1961年	昭和36年	長崎県総合農林センターとして現在地に移転
1971年	昭和46年	長崎県総合農林試験場に改称
1972年	昭和47年	果樹試験場（大村市）が独立
1973年	昭和48年	畜産試験場（有明町）が独立
2003年	平成15年	県内 7 試験研究機関を統括する政策調整局の所管
2006年	平成18年	新設の科学技術振興局の所管
2009年	平成21年	3 試験場を統合再編し、長崎県農林技術開発センターに改称
2011年	平成23年	科学技術振興局の再編により農林部へ移管
2021年	令和3年	干拓営農研究部門と馬鈴薯研究室が統合し、畑作営農研究部門となる。また、病害虫防除所を統合し、病害虫発生予察室となる。

敷地面積

6か所合計 12,734a

組 織 Organization

組織体制



職員数

(単位：人、令和7年4月1日現在)

部門名	事務	研究	技術	現業	小 計	任 用 (現業・非現業)	合 計
所 長		1			1		1
管理部門	10				10	5	15
研究企画部門		6			6	1	6
畑作営農研究部門		11		3	14	3	17
農産園芸研究部門		17		6	23	7	30
森林研究部門		7		2	9		9
環境研究部門		10	8	1	19	1	20
果樹・茶研究部門	1	16		4	21	4	25
畜産研究部門	2	14		15	31	16	47
合計	13	82	8	31	134	37	171

各部門の概要 Introduction of Each Unit

管理部門

主な業務

- 庶務及び公有財産、農林資料館の管理
- 予算、決算及び物品の管理



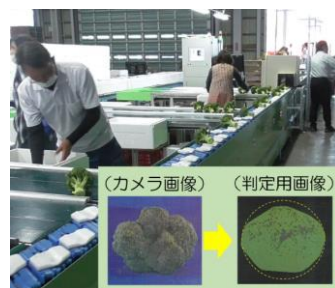
研究企画部門

主な業務

- 試験研究の総合企画、調整及び研究職員の資質向上
- 研究成果の普及促進、広報活動及び気象観測
- 地域農業振興と農業経営改善のための調査研究



公開イベント

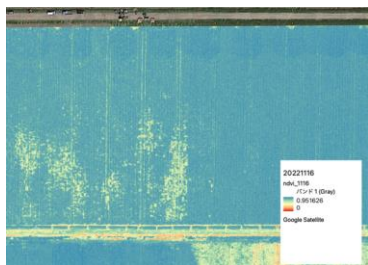


AI選果システムの開発・実証

畑作営農研究部門

主な業務

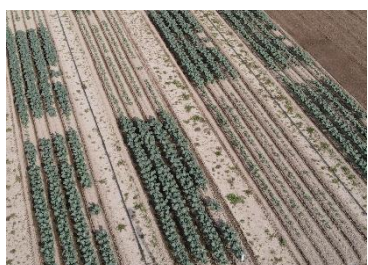
- 露地野菜・バレイショのスマート農業技術、省力作業及び安定生産技術の開発
- 諫早湾干拓地における大規模環境保全型農業技術の開発
- 病害虫に強く多収性のバレイショ新品種の育成と栽培・防除技術の開発
- 平坦地や中山間地における主要露地野菜・バレイショの営農体系の確立



大規模圃場での農作物の生育状況を把握する技術の開発（NDVI値）



ドローン等航空防除用農薬の登録促進、防除体系の確立



干拓地での大規模環境保全型施肥技術の開発



多収で早期肥大性のバレイショ品種「アイマサリ」

各部門の概要 Introduction of each unit

農産園芸研究部門

主な業務

- 稲・麦等の品種選定と育成
- 稲・麦等の省力・安定・高品質栽培技術の開発
- イチゴ・花きのオリジナル品種育成
- 施設野菜・施設花きの高品質・安定生産技術の開発
- バイオテクノロジーによる農産物の品種育成



高温耐性に優れる水稻早生品種として奨励品種に採用された「なつほのか」



長崎ちゃんぽん用として開発された小麦「長崎W2号」



リモートセンシングで測定したNDVI値による水稻生育診断技術の開発



長崎オリジナルイチゴ品種の育成



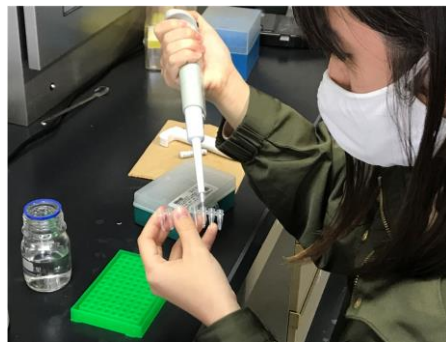
イチゴとミニトマトの環境制御技術の開発



AIを活用した輪ギクの自動栽培システムの開発



カーネーション萎凋細菌病抵抗性品種「ひめかれん」



病虫害抵抗性DNAマーカー検定技術の開発

各部門の概要 Introduction of Each Unit

森林研究部門

主な業務

- 低コスト育林に関する試験研究
- スマート林業の実践に関する研究
- 森林獣害防除技術の改善及び開発
- 木質資源の利用・加工及びシイタケ、ツバキ等特用林産物の栽培技術の開発



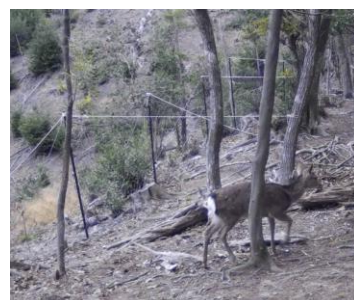
ツバキ林育成技術の開発



ヒノキ特定母樹採種園（R4設定）



雲仙普賢岳の地形解析



シカ被害からの森林の保全

環境研究部門

主な業務

- 環境保全型農業に関する試験研究
- 土壌の調査、地力の維持増進技術の開発
- 水稻・野菜の効率的低コスト施肥技術の開発
- 農作物病害虫の生態解明と制御技術の開発
- 総合的病害虫管理技術（IPM）の開発
- 病害虫の発生予察、重要病害虫侵入警戒調査
- 薬剤耐性菌・薬剤抵抗性の検定



画像引用元
農研機構
「日本土壌
インベントリー」

デジタル土壌図を基にした減肥アプリ等の開発



天敵を利用した害虫管理技術の開発



病害虫発生予察技術の開発



ミバエ類の侵入警戒調査

各部門の概要 Introduction of Each Unit

果樹・茶研究部門

主な業務

- カンキツ・ビワ新品種の育成
- 果樹の高品質果実生産技術の開発
- 省力・低コスト生産技術の開発
- 環境に配慮した施肥、病虫害管理技術の開発
- 実需者等ニーズに対応した高品質茶生産技術の開発
- スマート農業技術の開発と現地実証



カンキツのドローン防除



長崎県オリジナル品種
「長崎果研させぼ1号」



大果で良食味のビワ品種
「なつたより」



旨味が強く茶葉の緑色が
鮮やかな碾茶

畜産研究部門

主な業務

- 乳用牛・肉用牛・豚・鶏の飼養管理技術の開発
- バイオテクノロジー等新技術の開発
- 長崎ブランド畜産物等品質向上技術の開発
- 飼料作物・草地関連技術の開発
- 未利用資源の活用、環境技術の開発



牛の繁殖成績改善に向けた技術の
開発



長崎和牛の品質向上に向けた
技術の開発



肥育豚の飼料コスト低減に向け
た技術の開発



ペレット堆肥の広域流通システムの
開発・実証

所在地 Location

部門名		室名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX
長崎県農林技術開発センター			854-0063	諫早市貝津町3118	0957-26-3330	0957-26-9197
管理部門	総務課				0957-26-4062 0957-26-4295	
研究企画部門	研究企画室				0957-26-4328	
畑作営農研究部門	干拓営農研究室	854-0038	854-0302	諫早市中央干拓131	0957-35-1272	0957-35-1273
	中山間営農研究室			雲仙市愛野町乙2777	0957-36-0043	0957-36-2697
農産園芸研究部門	作物研究室	854-0063	854-0063	諫早市貝津町3118	0957-26-4350	0957-26-9197
	野菜研究室				0957-26-4318	
	花き・生物工学研究室				0957-26-4319 0957-26-4326	
森林研究部門		854-0062	854-0062	諫早市小船越町3170	0957-26-4292 0957-26-4293	0957-26-9197
環境研究部門	土壌肥料研究室				0957-26-4381	
	病虫害研究室				0957-26-4413	
	病虫害発生予察室				0957-26-0027	0957-25-1299
果樹・茶研究部門	研究調整室	856-0021	856-0021	大村市鬼橋町1370	0957-55-8740 0957-55-7904	0957-55-6716
	カンキツ研究室					
	ビワ・落葉果樹研究室					
	茶業研究室	859-3801	859-3801	東彼杵郡東彼杵町中尾郷1414	0957-46-0033	0957-46-0875
畜産研究部門	研究調整室	859-1404	859-1404	島原市有明町湯江丁3600	0957-68-1135	0957-68-1138
	大家畜研究室					
	中小家畜・環境研究室					

【長崎県農林業の概要】

- 立地条件 島嶼（県土の46%）や半島から成り、耕地は急傾斜地が多く、複雑な地形となっている
- 気 候 年平均気温は16～17.5℃、年間降水量は約2,000mmと温暖多雨な気候
- 農家戸数 総農家数は28,282戸。販売農家は17,329戸で総農家の61%
また、主業経営体は5,524。農業経営体（個人）17,500の32%
- 農業産出額 令和5年の農業産出額は1,590億円で全国23位
品目別順位は肉用牛、豚、いちご、ばれいしょ、みかん、米の順
- 森林面積 242千haで総土地面積の59%を占め、人工林面積は104千ha
- 林業産出額 令和5年の林業産出額は60.2億円で、うちきのご類は45億円、木材生産15億円



長崎県農林技術開発センターwebサイト